

(付)

家 計 調 査



調査の概要

1 調査の目的

家計調査は、国民生活の実態を家計の面から明らかにすることを目的として、昭和21年7月以来、毎月実施している。

なお、全国を対象とするようになったのは昭和37年7月からである。

2 調査の対象

調査の対象は、全国の消費者世帯（農林漁家世帯、単身者世帯などを除く）約2,700万世帯である。

3 調査世帯の選定

調査世帯は、全国の168市町村から約8,000世帯を無作為抽出法で選定している。

4 調査の方法

各調査世帯は、6ヵ月間継続して日計式の家計簿を記入する。その際に、勤労者世帯及び無職世帯は毎日の収入と支出を、それ以外の世帯は毎日の支出を記入する。

全世帯	}	勤労者世帯	世帯主が会社、官公庁、学校、工場、商店などに勤めている世帯をいう。
		一般世帯	勤労者世帯以外の世帯をいう。すなわち、個人営業世帯、自由業世帯、無職世帯などをいう。